

1. 学校の経営計画

〔1〕学校教育目標

『自らを高め 共に学び共に育ち

たくましく未来を切り拓く児童生徒の育成』

《めざす学校の姿》

『すべての子どもたちが 世代を超えた人たちとつながり

生涯学び続け生きる力を育む学園』

《めざす子ども像》

- 👉 自ら判断し 言葉によって伝え互いに協力し合える子
- 👉 自分を大切にし 互いの違いを認め合い高め合える子
- 👉 目標に向かって学び続けられる子

〔2〕学校経営の方針

(1) 基本的な考え方 “～3つのつながりを実践～”

《学びをつなげる》

6・3制を基本とし、発達段階を考慮しながら、1年生から4年生、5年生から7年生、そして8年生から9年生の節目を意識しながら9年間の教育活動を実践していきます。そのために一体となった学校施設のメリットを最大限に生かし、前期後期の教職員が協働して、専科指導や生活指導など一体となった機能的な指導体制を創りあげていきます。また、充実した ICT 機器等を活用しつつ多様な学習形態により、子どもたちの学ぶ意欲や主体的に問題解決に向かう力を育む授業づくりを行います。さらに支援教育の視点を取り入れながら誰もが「わかる」「できる」授業実践とともに、お互いの違いを認め合い子どもたちが『ともに学びともに育つ』教育活動に取り組みます。

《人がつながる》

1年生から9年生の発達段階をふまえながら、複数の学年交流や行事等を行うなど、思いやりの心や上級生へのあこがれや目標と感じられる機会の設定に取り組みます。『つながる 広がる 伸びてゆく 地域に根ざしたさつきの9年』を合言葉に、教科外の学級活動や児童会・生徒会活動、部活動や体育・文化的行事などの行事を通じ、仲間と一緒に協働する力や問題解決に取り組む力を育みます。

《地域とつながる》

“地域力を生かせる場（空間）”を活かし、様々な異年齢の交流活動を通じ、学校と地域をつなぎ、『学校の応援団』となり、学校運営に参画する学校運営協議会を目指していきます。

さつき学園学校運営協議会

～つながる 広がる 伸びていく 地域に根ざしたさつきの9年～

令和4年度 さつき学園 学校教育基本方針

【相互乗り入れ授業】

- 令和3年度同様、交換授業も含め、教科担任制を実施
- 5・6年生については生徒指導体制の充実のために副担任制を導入

【働き方改革の推進】

- 保護者連絡の欠席遅刻連絡、健康観察をアプリで実施する。
- 土日の部活動指導について、守口市地域運動部活動事業を活用する。

【確かな学力】 自ら判断し言葉によって伝え互いに協力し合える子 ～9年間一貫した子ども主体の授業づくり～

- 子ども主体の「授業づくり」『さつきの学び』
 - ☞校内研究会と9グループ授業研究会&“一人一指導案”で取り組む
- 学習のねらいの明確化・keywordふりかえり活動・意欲を高める評価
 - ☞相互参観月間
- GIGAスクール iPadを使用した研究
- 家庭学習習慣の定着及び家庭・地域へのはたらきかけ
 - 自学自習 ☞iPadを活用した家庭学習ドリルパークの活用
 - ☞家庭学習習慣の設定と学習計画・頑張りカードを実施する
- 各学年の指導事項・系統表を意識した国語の授業づくり
- 読書活動の推進
- 「道徳科」本音で語り合える授業 授業力の向上

【地域学の推進】 総合的な学習の時間・生活科の充実

- 地域に根差した総合的な学習の時間 商店街など地域の良いところの発見。
- さつきフレンドなど地域の方との交流。
 - 例：前期課程 さつきフレンドとの交流（遠足の引率、昔遊びの指導）
福祉体験、商店街で職場体験 キッズマーケット
 - 後期課程 福祉、防災、歴史等 ガイドマップの作成
- 夜間学級や松下看護専門学校との連携
- キャリアパスポートの推進 自身の変容や成長を自己評価できるためのポートフォリオ

【特別活動の充実】

- 主体性・自主性を育む児童生徒会活動の推進と連携
 - ☞発達段階をふまえた異学年交流の取組み
 - 学校行事や総合的な学習・さつき班活動・特別活動等
- 新7年生の進級式は、生徒会行事「7年生を迎える会」に変更
- 全校遠足 など意義等の確認・見直し

【5・6年生の部活動の参加】

- 後期課程の部活動に参加し、前期後期の交流を盛んにする。
- 部活動を通して、体力向上や礼儀、協調性を身につけ、心身の成長を図る。

【健やかな体】目標に向かって学び続けられる子

～9年間の積み上げによる体力向上と健康・安全教育の充実を図る～

- 9年間を見通した体力向上プランの作成
- 新型コロナウイルス感染症の予防
- 給食・ランチルーム等を活用した食の教育の充実
 - ☞栄養教諭・家庭科教員の連携した実習を行う
- 施設環境を活用した遊びや体育授業の推進 人工芝の利点を活かした体育授業
- 発達段階に応じ、自分の健康や安全に関心を持ち、危機回避ができる力を育む
 - ☞縦割り地区児童生徒会活動の取組みを行う（災害の状況に応じた避難訓練への活用）
 - ☞教職員の危機管理対応 シンプルにわかりやすく

【人権教育】自分を大切にし 互いの違いを認め合い高め合える子

- 海外からきた児童・生徒への対応 ICTの活用
- 人権教育課題への取組(いじめ・差別事象への対応等)
- 新型コロナウイルス感染症によるいじめ防止 人権意識の育成

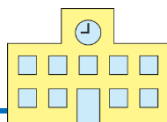
【生活指導】

- いじめ、金銭のトラブルの未然防止の指導と事後の迅速な組織対応（問題行動対策委員会）
- ネットトラブルの未然防止の指導と情報モラル教育の充実
- 『さつきの生活』を共有した指導を実践する

【支援教育】9年間見通した指導と支援の実施

- 支援教育の推進（自立活動の充実、異学年交流活動）
- 通級指導教室の活用（前期課程、後期課程）
- インクルーシブ教育
- 児童生徒の困り感を理解して、適切な支援の実施

自らを高め 共に学び共に育ち たくましく未来を切り拓く児童生徒の育成



めざす学校の姿

『すべての子どもたちが
世代を超えた人たちとつながり
生涯学び続け生きる力を育む学園』

生きる力

ひとり一人の夢や目標の実現に向けて自らの人生を切り拓き
他者と助け合いながら幸せな生活を営んでいける力

めざす教師像

- 子どもに寄り添い愛情を持って厳しくも
あたたかく指導できる教職員
- 人権感覚を磨き続ける教職員
- 子どもと共に学び喜び合える教職員
- 地域・保護者の信頼をもとに協働できる教職員

豊かな心

自分を大切にし 互いの違いを
認め合い高め合える子

「道徳科」授業の実践並びに充実

子どもが主体的に考え、本音で語り合える授業
聴きあえる集団づくり＝授業力の向上

- ♥9年間のつながる体験的な学習の推進
 - 人権教育課題への取組(いじめ・差別事象への対応等)
 - 夜間学級との交流活動の実施
 - キャリア教育全体計画の実践
- ♥主体性・自主性を育む児童生徒会活動の推進と連携
- ♥発達段階をふまえた異学年交流の取組み
 - 学校行事や総合的な学習・さつき班活動・特別活動等
- ♥支援教育の推進(異学年交流活動)
 - 9年間見通した指導と支援の実施

確かな学力

自ら判断し 言葉によって伝え互いに協力し合える子

【研究主題】 つながる 広がる 伸びていく 9年間で育むさつきの学び
～自ら考え 伝え合う子どもの育成～

小さな授業研究会

指導案検討・事前授業
相互参観の活性化

- 子ども主体の「授業づくり」『さつきの学び』
- 学習のねらいの明確化・keywordふりかえり活動・意欲を高める評価
- デジタル教科書普及及び促進事業(前期課程 国語)
- GIGAスクール 研究授業は、iPadを使用した研究
- 家庭学習習慣の定着及び家庭・地域へのはたらきかけ
自学自習 ☞iPadを活用した家庭学習ドリルパークの活用
☞家庭学習習慣の設定と学習計画・頑張りカードを実施する
- 各学年の指導事項・系統表を意識した国語の授業づくり
- 読書活動の推進

健やかな体

目標に向かって学び続けられる子

- ◆達成感を実感できる体育的行事に取り組み
- ◆『さつきの生活』を共有した指導を実践する
- ◆給食・ランチルーム等を活用した食の教育の充実
 - ☞栄養教諭・家庭科教員の連携した実習を行う
- ◆施設環境を活用した遊びや体育授業の推進
 - ☞人工芝等の利点を活かした体育授業を行う
- ◆発達段階に応じ、自分の健康や
安全に関心を持ち、危機回避ができる力を育む
 - ☞縦割り地区児童生徒会活動の取組みを行う
(災害の状況に応じた避難訓練への活用)

～9年間の積み上げによる体力の向上と
健康・安全教育の充実を図る～

～異学年や世代を超えた交流で
豊かな人間性を育てる～

～9年間一貫した子ども主体の授業づくり～

学校運営協議会活動

さつきフレンド

連携
協力
参画

さつき地域コミュニティ協議会

子ども部会
滝井部会 春日部会

説明⇒

←支援・評価